

【演題名】ジクアホソル点眼液がマイボーム腺機能不全を伴うドライアイの涙液油層に与える効果

【ショートタイトル】ジクアホソル点眼液と涙液油層

【英文タイトル】

Change in Tear Film Lipid Layer after Diquas® Instillation in Dry Eye with MGD

福岡詩麻 1,3,4、有田玲子 2,3,4

1. 大宮はまだ眼科, 2.伊藤医院, 3. LIME 研究会、4.東京大

【目的】ジクアホソル点眼液(DQS)は、涙液の水分やムチンを増加させるドライアイ治療薬であり、マイボーム腺機能不全(MGD)患者のマイボーム腺形態改善(Arita ら, 2013)、正常眼の涙液油層厚増加(Fukuoka ら, 2017)が報告されている。今回、MGD を伴うドライアイ眼において DQS が涙液油層に与える効果を検討した。

【対象と方法】対象は MGD 合併ドライアイ, 34 例 68 眼(男 24 例, 女 10 例, 47.8±12.8 歳)。片眼に DQS, 僚眼に人工涙液(AT)を 1 回点眼し, 点眼 30, 60, 90 分後に涙液油層厚(LLT, nm), 非侵襲的涙液層破壊時間(NIBUT, 秒), 涙液光干渉像を観察, 点眼前と比較した。

【結果】DQS 群では LLT は点眼前(46.4±16.8 nm)と比較し, 30 分後に有意に増加し(30, 60, 90 分後, 69.7±31.9, 60.1±31.3, 59.7±28.0 nm, $p=0.008, 0.49, 0.21$), NIBUT は点眼前(2.9±1.6 秒)と比較し, 30~90 分後まで有意に延長したが(6.1±2.7, 6.1±2.5, 5.7±2.6 秒, $p<0.001, <0.001, <0.001$), AT 群では LLT, NIBUT は変化しなかった。点眼前に涙液光干渉像で干渉縞を認めなかった眼(蒸発亢進型ドライアイ)では, AT 群(28 眼中 4, 3, 2 眼)よりも DQS 群(30 眼中 19, 23, 15 眼)に有意に多く改善がみられた($p<0.001, <0.001, <0.001$)。

【結論】MGD 合併ドライアイで DQS は 30 分後に LLT を増加させ, 90 分後でも涙液安定性が著名に改善していた。DQS は水分, ムチンの増加だけでなく涙液油層の改善に対しても有効である可能性がある。

【利益相反公表基準：該当】福岡詩麻 有 (【FIV】参天製薬、有田玲子 有 (【FIV】参天製薬、Tear Science®, 【P】、【C II】興和)